

栃木県理学療法士(協)会
代議員立候補者

定 数 : 4 名

立候補者数 : 4 名



氏名 細井 直人

都道府県士会 栃木県

年齢 53

勤務先名称 だいなりハビリクリニック

協会・士会役員歴

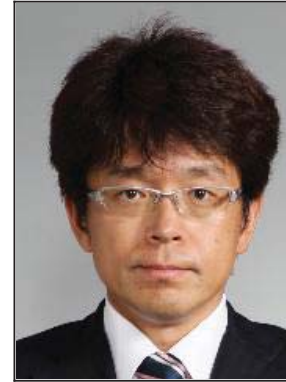
平成18年 4月～現在	一般社団法人栃木県理学療法士会理事
平成23年 7月～現在	一般社団法人栃木県理学療法士会副会長
平成25年 7月～現在	地域包括ケア推進特別委員会委員長
平成22年度～平成24年度	公益社団法人日本理学療法士協会代議員
平成28年度～現在	公益社団法人日本理学療法士協会代議員

立候補の趣旨

平成18年度より栃木県理学療法士会理事に任命され、平成23年度から副会長、平成25年7月から地域包括ケア推進特別委員会委員長、平成26年12月から栃木リハビリ3士会合同地域包括ケア推進委員会委員長として、各推進リーダー育成・行政機関との連携等に向け活動中である。平成30年4月から、栃木リハビリ専門職協会会長として、訪問リハビリ推進・地域包括ケア介護予防推進・災害対策推進に向け活動予定である。

これからの日本は、超少子高齢化、人口減少、社会保障費漸増等未経験状況に向かっている。日本国民全てが、知恵を絞り、コミュニティ強化を図り、地域共生社会に向け歩んでいかなければならないと思う。

本協会は、協会員約11万人、平均年齢33歳とエネルギーポテンシャルは高いが、未だ未成熟な状況である。職能団体としても、他の職能団体と比較検討すると未成熟感は否めない。未成熟だからこそ、歩むべき方向を様々な選択できるので、限りなく真意・高質的な目標に向かい歩んでいく決意である。



氏名 金子 純一郎

都道府県士会 栃木県

年齢 48

勤務先名称 国際医療福祉大学

協会・士会役員歴

平成12年～14年度	栃木県理学療法士会 学術部員
平成14年度	栃木県理学療法週間委員長
平成16年度	第8回栃木県理学療法士学会 学会長
平成18年度～19年度	栃木県理学療法士会・学会部長
平成20年度～23年度	栃木県理学療法士会・理事・学術局長
平成23年度～26年度	栃木県理学療法士会・理事・政治活動推進委員長
平成27年度～現在	栃木県理学療法士会・理事・第37回関東甲信越ブロック学会学術局長
平成26年度～現在	日本理学療法士協会代議員

立候補の趣旨

今後、栃木県の理学療法活動において学術交流を活性化させていき、県士会活動を基盤とした産学官連携を発展させていきたいと考えております。栃木県の人口現在約200万人であり、65歳以上の高齢者人口は約53万人と推移しており、約27%が高齢者人口を占める超高齢社会となっている。今後も他の市町村同様に高齢化に対する対策も今まで以上に重要視されることが考えられ、健康政策にも理学療法分野として積極的な参画が必要である。特に健康寿命の改善や脳卒中や糖尿病といった成人病に対する罹患率の対策は各自治体と協力する必要性を感じております。そこで市民講座や包括的支援事業をさらに活性化することから着手したいと考えております。この活動を通じて、関連企業、地域そして自治体と連携することで、理学療法分野の更なる連携事業の拡充と発展に向けて努力していきたい所存です。



氏名 金子 操

都道府県士会 栃木県

年齢 62

勤務先名称 自治医科大学附属病院

協会・士会役員歴

平成8年4月～平成21年8月 栃木県理学療法士会会長
平成21年9月～平成27年6月 一般社団法人栃木県理学療法士会会長
平成27年6月～現在に至る 一般社団法人栃木県理学療法士会監事
平成29年6月～日本理学療法士協会 倫理委員会、懲戒委員会委員長

立候補の趣旨

協会と栃木県理学療法士会の連携強化のために貢献できればと考えています



氏名 大屋 晴嗣

都道府県士会 栃木県

年齢 54

勤務先名称 リハビリテーション花の舎病院

協会・士会役員歴

平成27年より一般社団法人栃木県理学療法士会会長

立候補の趣旨

日本理学療法士協会の運営に対し、必要な場合は栃木県士会の意向を述べていきます。県士会員が納得して協会活動や県士会活動に協力して頂けるよう、広報活動等を積極的に行っていきたいと思います。
また、新人教育を含め卒後教育のシステムが議論されていますが、日本理学療法士協会の意向を踏まえつつ栃木県理学療法士会との橋渡しをスムーズに行えるようにしていきます。